

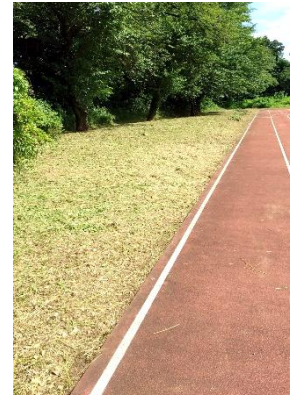
綺麗になりました！ 植樹会ご関係者に感謝！

(陸上競技部 S44 卒 OB・植樹会員) 後藤哲也

6月下旬に陸上競技場周辺の整備作業あり、国立へ延べ3日間出向き作業に参加。**第1日目**は北関東で6月では初の気温40度超の当日。アラ80の身には貴重な(記帳に値する)体験で部室前の水道水をかむ飲み。国立市の水道水がこんなに美味しいとは。

その猛暑の中、植樹会幹事の方々は更に防護カバー着用し、駆動式刈り払い機等でのグラウンド周辺(初日は主に北側と東側土手)の整備作業に懸命に取り組んで下さった。その数、10名以上。私より年配らしき方も。心臓ペースメーカー装着後、医師からOK出たので参加の方も。植樹会の方々の母校愛とボランティア精神に頭が下がる思いで唯々感謝です。

また、全天候トラックを傷付けないよう土手とトラックの間は樹脂製ワイヤーで、土手奥の笹竹は金属円盤で芸細対処下さった。



すっきりした東側土手

私は駆動式刈り払い機は使えないので、手動ノコギリでまずは部室右横の伸び放題の雑木を整備。予想以上に大変で、もっと伐採したい気持ちを抑えて、今後のグラウンド訪問目的の一つに残しておくことに。お次はゴール地点の審判員階段裏側でこれまた伸び放題の桑の樹木を根元から全て倒伐。かなりスッキリ感出たところで私の初日AMの部は了。

学食でカツカレー定食大盛他を食べ午後への英気を養う。植樹会幹事の皆さんは30分そこそこの昼休みの後、駆動式刈り払い機での作業再開へ。労基法抵触?と定食食べた私は一瞬思ったが、全員リタイア者で関係ないか。

私の第一日目PMの部の前半は、部室左側通路の一段高くなった場所の通路側へはみ出し放題の雑草を鎌で刈り取る作業。腰を曲げた状態での作業は疲れたが、戦利品として雑草に覆われたシートの中から大量のトレーニング用の器具類が。現部員はこの器具類あること承知だったか一抹の危惧あり。

私の初日PMの部の後半はグラウンド南側(第3~第4コーナー)の土手に自生の桑の樹木の伐採。明日2日目の駆動式刈り払い機作業者の支障になると考え、その前にと。炎天下の午後後半は体力限界と思い始めた頃、終了時刻に。

自宅最寄り駅からの帰路、無性に冷たい物が欲しくなり、コンビニでアイスキャンディを。痩せてる私が購入したのは勿論「ガリガリ君」。その夜は疲れもあり翌日に備えて9時前に就寝。

第2日目も猛暑。植樹会の方々10数名。陸上競技部員約40名も参加しての共同作業。現役部員達の作業は植樹会側で刈った雑草や樹木枝を熊手で集め、リヤカーに積み込み所定の場所へ運ぶこと。



刈った草をリヤカーに積み込む陸上部の
絆生

植樹会の駆動式刈り払い機組は前日の続きとグランド西側と南側の土手整備。なおグランド北側で蜂に刺された人いて、警戒すべきは猛暑だけではなくたようだ。

私は前日の続きでグランド南側の雑木類の伐採。その場所担当の部員達にもラチェット（大枝切り狭）使用要領を伝授？し、雑木と松に

みついたツタも切

ってもらった。私が2日目に特に注力したのは、グランド西側（野球場側）の土手に自生巨大化した雑木の塊を手動ノコギリで切り崩し適正サイズにする作業。私の学生時代は無かった雑木。長年の間に第8コース走路側にせり出して来ており、試合応援時は土手から一旦トラック内に入り込んで迂回通過せざるを得ない状況。今回は取り敢えず、数年先の枝の伸び具合を見越しかなり切ったが作業途中。第1日目の部室右側の雑木の継続処理同様、次回グランド訪問の目的（楽しみ）に取



処理された走路せり出し枝
をリヤカーに積み込む陸上部の

長距離だった私として気になった箇所も整備。グランド南東部のクロスカントリーコースで今夏はみ出して来そうな植物を除去。特に顔の高さの枝葉と脚位置のイバラ棘と絡みツタはランナーには厄介物。

3月実施のグランド東側の大木の枝の除去作業では「短距離陣の記録向上に寄与？」のコメントあったが、今回のクロカンコース入口部整備でランナーズハイ体験の長距離陣が続出し、箱根予選会出場権獲得に結び付くことを期待。



磯研前ひょうたん池から陸上競技場への視界を遮っていた小笹の群生を根元から刈り込み観戦がしやすくなった

第3回目作業は数日後に植樹会幹事&陸上競技部S51卒OBの井田さんと私で、白川主将他の部員に手伝ってもらい、グランド北側土手の積み残し竹笹と部室左手通路の積み残し雑草を除去。井田さんに教わりブロワー（送風機）を初めて使用。トラック内の切り草を吹き飛ばす快感は箒では味わ



広範囲に及ぶ整備は人海戦術の面があり、植樹会の方々のご尽力のお陰は勿論のことだが、陸上競技部員達との共同作業で、文字通り見違える程綺麗になった。

1OBとして嬉しく、心から感謝します。

(写真と写真説明文は井田 OB)

今回、作業しながら思った「**年寄りのつぶやき**」を以下に勝手列記。

(1) グラウンド周辺の整備作業も格好のトレーニングになるものだなあ。

- ・しゃがみ込んで雑木を根元からノコギリで切り、それを持ち立ち上がる = スクワットの動作。
- ・切った雑木にツタが絡まっており両腕で引きずり出す = ランニング時の腕・肘を後ろに引くトレーニング動作。

⇒学生時代にこういう意識でグラウンド整備作業してたら良かったなあ。でも、私はまだレース出る予定だから整備作業 = トレーニングで一石二鳥だ。

(2) 卒業生と現役部員で協同整備する企画あればいいなあ。(植樹会とは別に)直接的当事者たる現役部員側から呼び掛けがあれば、OB・OGは喜んで参加だろう。パート別・場所別に試行する手もありかな。例えば、長距離なら馴染み深い5000mスタート地点(第3コーナー)付近の整備に協同で一汗かくとか。この場所、この樹は自分が毎年整備したいとか奇妙な御仁いるかも。

(3) 教室座学での高邁な経営理論よりも、整備作業は生きた実学かも
大企業病の根は社員の当事者意識の希薄(他人事扱い)にあると言われている。組織構成員の一人一人が「家族経営個人商店の一員」だの意識あれば、主体的に行動し大企業病とは無縁らしい。

個人商店なら、店頭・商品棚・仕事場は日頃から綺麗に掃除・整理整頓・工夫配置しておかないと、効率面だけでなく顧客は遠のき先行き暗きことを肌身で実感し、日々留意しているからだ。

店頭 = 部室入口、商品棚 = 器具置き場、仕事場 = グラウンド、顧客 = 入部来訪学生に置き換えてみれば、社会に出る前に正に生きた実学が目の前に存在。